

ワカヤマソウリユウの全身復元骨格
島根県で展示

●夏季特別展「海竜大進化く恐竜時代の蒼き海へ」

7月11日(土)から9月27日(日)にかけて開催された、島根県立三瓶自然館サヒメルの夏季特別展「海竜大進化く恐竜時代の蒼き海へ」で、有田川町のワカヤマソウリユウ全身復元骨格が展示されました。

この特別展は、中生代の海に進出して進化を遂げた海の大形爬虫類「海竜」をテーマとしたもので、海竜がどのような生活を送り進化したのか、その実態に迫る内容です。ワカヤマソウリユウは、全長8メートルの首長竜であるエラスモサウルスの全身骨格と共に、メイン展示の一つとして扱われました。



搬出の様子

●6月の搬出作業

復元骨格標本は、三瓶自然館のスタッフが有田川町まで来て、丁寧に梱包して搬出を行いました。ワカヤマソウリユウの復元骨格は、いくつかのパーツに分解することによって、普通自動車1台で運ぶことができます。そのため、遠隔地でも比較的簡単に搬送して展示することが可能です。

●三瓶自然館での展示の様子

特別展は、夏休みを中心にくさくさんの人が訪れたそうです。島根県のテレビや新聞などのメディアでも大々的に報道され、多くの来館者に親しまれました。

気軽に出張できるワカヤマソウリユウは、日本を代表するモササウルスとして、これから町外、県外で有田川町をPRしていきます。



展示の様子 (写真提供：島根県立三瓶自然館サヒメル)